

# ポン・ジュノ、ジャ・ジャンクーが絶賛！ 世界が注目する27才 廣原 暁。その才能の秘密に迫る。

「世界グッドモーニング!!」でPFFアワード2010審査員特別賞やバンクーバー国際映画祭新人賞グランプリに輝き、ポン・ジュノやジャ・ジャンクーから「革命的でクリエイティブ! 真に有望な映画監督」と激賞された廣原 暁(ひろはら・さとる)監督。劇場デビュー作となる『HOMESICK』公開を記念して「廣原 暁 監督特集」を開催。孤独な男子高校生思いがけない旅を描いた『世界グッドモーニング!!』、20代前半の男女の同棲生活と逃避行を描いた『返事はいらない』に続いて、等身大の若者の成長を一寸のブレもなく精密に鮮やかに切り取った最新作『HOMESICK』は、フランソワ・トリュフォー監督の“アントワース・ドワネルもの”に通じる永遠の青春映画の系譜につらなりながらも、日本映画の新たな季節を予感させる。

## 第22回PFFスカラシップ作品

# HOMESICK

30歳。失業した。限りなく自由で、どこにも行くあてがない夏休み。じきに再開発で取り壊される実家に留まることしかできない主人公の健二は、かつての自分のような子供たちと真剣に遊ぶ中で、自らの進むべき道を見つめ直していく。長引く不況の中、高望みをせず穏やかな暮らしを望む「さとり世代」と呼ばれる現代の若者たち。自身もその世代に当たる廣原は等身大の若者を主人公に、家族不在の家で展開する新世代のホームドラマを完成させた。

監督・脚本・廣原 暁 | 出演・郭智博、金田悠希、嵯崎飛翼、本間翔、奥田恵梨華  
プロデューサー・天野真弓 | 撮影・下川龍一 | 録音・音響・渡辺一輝 | 美術・飯森則裕 | 音楽・トクマルシューゴ | 編集・石井沙貴 | 助監督・飛田一樹  
制作担当・和氣俊之 | 製作・PFF パートナーズ=びあ、TBS、ホリプロ/東宝提携作品 | 配給・宣伝マジックアワー | ©PFF パートナーズ/東宝  
2012年 | 日本 | カラー | デジタル | 16:9 | 98分



## 第22回PFFスカラシップ作品 【廣原 暁監督特集】+セレクト作品

### A | 世界グッドモーニング!!

2009年 | カラー | DV | 81分 | 武蔵野美術大学卒業制作  
出演・小泉陽一朗、新井美穂  
●第12回京都国際学生映画祭 準グランプリ・観客賞受賞◎PFFアワード2010 審査員特別賞受賞◎第29回バンクーバー国際映画祭 ドラゴン&タイガー・ヤングシネマアワード(グランプリ)受賞◎第61回ベルリン国際映画祭 フォーラム部門出品  
◆高校生のユウタは、母親と二人暮らし。あだ名ジャムラ。ほんの出来心で盗んだホームレスのバッグから、自分を変える旅が始まる…。内気な少年が、大きな「世界」と出会うロードムービー。撮影時23歳の長編処女作。



### B | 返事はいらない

2011年 | カラー | HD | 169 | 94分 | 東京藝術大学大学院修士作品  
出演・佐藤貴広、太田順子 | ©東京藝術大学大学院映像研究科  
●第24回東京国際映画祭ある視点部門出品  
◆ミケとユウは一緒に暮らしている。ある日、ミケは音楽を作り始める。ある日、ユウは北海道旅行を計画する。そしてある日、ミケはユウにプロポーズするのだが…。20代男女の平凡な同棲生活と非凡な逃避行を描いた青春映画。



### 【廣原 暁監督特集】

8/10(土) ~ 8/30(金)

8/10(土) ~ 8/23(金) 連日21:10 ~ 8/24(土) ~ 8/30(金) 連日20:40 ~  
各回入替制 / 整理番号制 / 自由席

8/10(土)-A 8/17(日)-B★ 8/24(土)-D  
8/11(日)-A 8/18(日)-E 8/25(日)-D  
8/12(月)-A 8/19(月)-B 8/26(月)-D  
8/13(火)-A 8/20(火)-E 8/27(火)-B  
8/14(水)-E 8/21(水)-C★ 8/28(水)-B  
8/15(木)-A 8/22(木)-C 8/29(木)-A  
8/16(金)-E 8/23(金)-C 8/30(金)-A

料金 ●『HOMESICK』特別鑑賞券 ¥1,400発売中! (当日一般¥1,700也) ●劇場窓口でお願い! 求める方には「特製手ぬい」プレゼント!  
●『廣原 暁監督特集』当日券¥1,200均一 ※『HOMESICK』前売券or鑑賞券半券ご提示割引→『廣原監督特集』¥1,000

★8/17(土)「8mmオールナイト」開催決定!!  
80年代PFF入選8mm作品を上映! 詳細はHPにて  
★8/21(水)「短編集」はミニライブ付き上映!!  
出演:音楽ユニット「Teatro Raffinato」  
特別料金:¥1,700(追加料金¥500/半券割引¥1,500)

## HOMESICK

8/10(土) ~ 8/30(金)  
8/10(土) ~ 8/23(金) 15:00 / 17:00 / 19:00  
8/24(土) ~ 8/30(金) 14:40 / 16:40 / 18:40

映画の新しい才能の発見と育成をテーマに1977年にスタートした「PFFびあフィルムフェスティバル」。その中の一般公募による自主製作映画のコンペティション部門「PFFアワード」で「発見」した才能の“育成”を目指して1984年から始まった、世界でも類のない「映画祭がトータルプロデュースする映画製作奨励制度」が「PFFスカラシップ」である。「PFFアワード」の入賞者に挑戦権が与えられ、次回作の企画を提出、その中から一名のオリジナル作品をPFFが企画、脚本、撮影、劇場公開、DVD化、テレビ放映などを含めトータルにプロデュースすることで、自主映画監督のデビューを支援している。2012年までに22作品が完成。

# 第35回PFFびあフィルムフェスティバル開催記念 PFFスカラシップのすべて 全21作品一挙上映

未来を担映画監督の育成プロジェクト【PFFスカラシップ】。これまでに製作された全21作品をすべて、製作当時のオリジナルフォーマット(16mm・35mm・デジタル)で上映する。  
今や、日本を代表する映画監督へと成長を選じた彼らの原点となる作品を、この機会に是非スクリーンでご堪能ください!!

第1回PFFスカラシップ作品  
① **イみてーしょん、インテリあ。**  
IMITATION INTERIOR  
監督・脚本・撮影:風間志織  
1985年 | 16mm | 45分 | カラー  
◎びあ  
◆奇抜なファッション、極端に省略した会話など大胆な演出で、現実と虚構を飛び交い展開していく、摩訶不思議な物語。



第8回PFFスカラシップ作品  
⑧ **この窓は君のもの**  
THIS WINDOW IS YOURS  
監督・脚本:古厩智之  
1993年 | 16mm | 103分 | カラー  
◎びあ・WOWOW  
◆ブドウ畑が広がる真夏の田舎町を舞台に、一途な想いを抱える高校生たちの恋心を描いた青春映画。



第2回PFFスカラシップ作品  
② **はいかぶり姫物語**  
WATER CROWN  
監督・脚本:斎藤久志  
1986年 | 16mm | 100分 | カラー  
◎びあ  
◆自閉症の青年と、少女の切ない関係を、1シーン1カットの長廻しで、淡々と、そしてリアルに描写していく。



第9回PFFスカラシップ作品  
⑨ **タイムレス メロディ**  
TIMELESS MELODY  
監督・脚本:奥原浩志  
1999年 | 35mm | 95分 | カラー  
◎びあ・タキコーポレーション・サンセントシネマワークス・レントラックジャパン  
◆さびれたビリヤード場を舞台に、二人の男女と、彼らが暮ら中年男性、彼と関わりを持つ若者の人生が交錯する3部構成。



第3回PFFスカラシップ作品  
③ **バス**  
BUS  
監督・脚本:小松隆志  
1987年 | 16mm | 80分 | カラー  
◎びあ・六文銭プロダクション  
◆独特のファイティング・スピリットとノスタルジーの入り混じった語り口で、人間の復讐を描いた土着的異色SF作品。



第10回PFFスカラシップ作品  
⑩ **空の穴**  
HOLE IN THE SKY  
監督・脚本:熊切和嘉  
2001年 | 35mm | 127分 | カラー  
◎びあ・ファミコン・ビームエンタテインメント  
◆監督の故郷でもある北海道の大地を舞台に、不器用で情けない中年男の再出発をテーマに描く人間ドラマ。



第4回PFFスカラシップ作品  
④ **自転車吐息**  
BICYCLE SIGHTS  
監督・脚本:園子温  
1989年 | 16mm | 93分 | カラー  
◎びあ・アンカースプロダクション  
◆憂鬱な日々を送る浪人生二人の心情を描く。"たが今の走っている俺を見てくれ"というメッセージが強烈な伝説的疾走青春映画。



第11回PFFスカラシップ作品  
⑪ **IKKA:一和**  
IKKA  
監督・脚本:川合 晃  
2002年 | 35mm | 75分 | カラー  
◎PFFパートナーズ  
◆大阪のとある一家が、家庭崩壊の危機を乗り越える様を、スピーディに描いた痛快ファミリーアクションエンターテイメント。



第5回PFFスカラシップ作品  
⑤ **大いなる学生**  
I FOUND MYSELF SMALLER AND SMALLER  
監督・脚本:小池 隆  
1991年 | 16mm | 50分 | カラー  
◎びあ・ポニーキャニオン  
◆青年二人の奇妙な友情関係を独特なユーモアで描く。未完の脚本が市川進監督の目にとまり、全面的な協力を得た。



第12回PFFスカラシップ作品  
⑫ **BORDER LINE**  
BORDER LINE  
監督・脚本:李 相日  
2002年 | 35mm | 118分 | カラー  
◎PFFパートナーズ  
◆17歳少年の殴打殺人事件をモチーフに、不器用に生きる人々のきずなを繊細に描き出した社会派人間ドラマ。



第6回PFFスカラシップ作品  
⑥ **二十才の微熱**  
A TOUCH OF FEVER  
監督・脚本:橋口亮輔  
1992年 | 16mm | 114分 | カラー  
◎びあ・ポニーキャニオン  
◆優しすぎる世代の息遣いを、日常的な風景の中で静かに描き出し、リアルな感覚が胸に響く青春映画。



第13回PFFスカラシップ作品  
⑬ **バーバー吉野**  
YOSHINO'S BARBER SHOP  
監督・脚本:荻上直子  
2003年 | 35mm | 96分 | カラー  
◎PFFパートナーズ  
◆町の男の子が全員同じ髪型! そんな田舎町に生きる少年や大人たちの姿をユーモラスに描いた作品。



第7回PFFスカラシップ作品  
⑦ **裸足のピクニック**  
DOWN THE DRAIN  
監督・脚本:矢口史靖  
1992年 | 16mm | 92分 | カラー  
◎びあ・ポニーキャニオン  
◆ごく普通の子供が、ふとしたことから不幸のどん底に転落していく様を描いたブラックコメディ。



第14回PFFスカラシップ作品  
⑭ **運命じゃない人**  
A STRANGER OF MINE  
監督・脚本:内田けんじ  
2004年 | 35mm | 98分 | カラー  
◎PFFパートナーズ  
◆ある一夜の出来事を登場人物それぞれの視点からコミカルに描いた新感覚のタイムスペイラルムービー。



## PFFスカラシップのすべて 8/11(日) ~ 8/16(金)

	14:00	16:30	19:00	21:00
8/11(日)	①+⑤	②	③	④
8/12(月)	⑥	⑦	⑧	⑨
8/13(火)	⑩	⑪	⑬	⑫
8/14(水)	⑬	⑮	⑭	⑯
8/15(木)	⑯	⑰	⑱	⑲
8/16(金)	特別プログラムを展開! 詳細はHPにて!			

チケット  
「チケットぴあ」にて7/20~8/9まで発売  
Pコード:551-442

前売1回券¥800 / 当日1回券¥1,000(日時指定)  
フリーパス券¥5,000(限定20枚)  
※フリーパス券は、PFFスカラシップ全21作品上映のみ有効  
8/16の特別プログラムには使用できませんのでご注意ください  
※期間中、劇場窓口にてチケットをご提示の上、連日13:30からその日に上映する全作品の整理券を配布致します。

会場:映画美学校エクリン  
(KINOHAUS 地下1階)

第15回PFFスカラシップ作品  
⑮ **水の花**  
WATER FLOWER  
監督・脚本:木下雄介  
2005年 | 35mm | 92分 | カラー  
◎PFFパートナーズ  
◆トラウマを抱える少女が、父親の違う妹との交流を通して大人へと成長していく姿を、詩的な映像でじつりと描く。



第16回PFFスカラシップ作品  
⑯ **14歳**  
FOURTEEN  
監督:廣末哲夫 | 脚本:高橋 泉  
2006年 | 35mm | 114分 | カラー  
◎PFFパートナーズ  
◆14歳という人生で最も多感な時を生きる者と、かつて14歳だった者との心の葛藤を、卓越した視線で描いた人間ドラマ。



第17回PFFスカラシップ作品  
⑰ **パーク アンド ラブホテル**  
Asyl  
監督・脚本:熊坂 出  
2007年 | 35mm | 111分 | カラー  
◎PFFパートナーズ  
◆古びたラブホテルの屋上にある小さな公園。東の間の憩いを求めて訪れた人々の交流を優しいタッチで綴る。



第18回PFFスカラシップ作品  
⑱ **不灯港**  
THE DARK HARBOR  
監督・脚本:内藤隆嗣  
2008年 | 35mm | 101分 | カラー  
◎PFFパートナーズ  
◆寂れた港町で繰り広げられる、孤独な独身中年漁師のロマンを描いた、しびれて、笑える、ハードボイルドな喜劇。



第19回PFFスカラシップ作品  
⑲ **川の底からこんにちは**  
SAWAKO DECIDES  
監督・脚本:石井裕也  
2009年 | 35mm | 112分 | カラー  
◎PFFパートナーズ  
◆しじみ獲れる水辺の街で、どん底から這い上がりついでいく人たちが繰り広げる可笑しくて愛おしい人生応援活劇。



第20回PFFスカラシップ作品  
⑳ **家族X**  
HOUSEHOLD X  
監督・脚本:吉田光希  
2010年 | 35mm | 90分 | カラー  
◎PFFパートナーズ/トルモア  
◆コミュニケーション不全の家庭で壊れていく専業主婦の姿を淡々と描き出す、緊迫感あふれる人間ドラマ。



第21回PFFスカラシップ作品  
㉑ **恋に至る病**  
THE END OF PUBERTY  
監督・脚本:木村承子  
2011年 | デジタル | 116分 | カラー  
◎PFFパートナーズ  
◆恋とセックスについての根源的な問いをユニークな感性で投げかける、新世代の突然変異的恋愛映画。



## 最終日8/16(金)特別プログラム決定!!

15:00 ~  
「第2回世界映画地図  
〜映画はどこから来てどこへいくのか〜」

ゲスト:熊切和嘉監督 共催:アテネ・フランス文化センター  
PFFアワード1997準グランプリ  
『鬼畜大宴会』上映  
KICHIKU  
監督・脚本:熊切和嘉  
1997年 | 16mm | 112分 | カラー



19:00 ~  
PFFなんでも相談室 開催

21:00 ~  
PFFアワード2012グランプリ&ジェムストーン賞  
『くしろのまち』上映  
THE TOWN OF WHALES  
監督・脚本:鶴岡慧子  
2012年 | デジタル | 70分 | カラー



※プログラム、ゲスト、料金など詳細はHPにてご確認ください

## PFFスカラシップとは?

映画の新しい才能の発見と育成をテーマに1977年にスタートした「PFFびあフィルムフェスティバル」。その中の一般公募による自主製作映画のコンペティション部門「PFFアワード」で「発見」した才能の“育成”を目指して1984年から始まった、世界でも類のない「映画祭がトータルプロデュースする映画製作奨励制度」が「PFFスカラシップ」である。「PFFアワード」の入賞者に挑戦権が与えられ、次回作の企画を提出、その中から一名のオリジナル作品をPFFが企画、脚本、撮影、劇場公開、DVD化、テレビ放映などを含めトータルにプロデュースすることで、自主映画監督のデビューを支援している。2012年までに22作品が完成。